

## 第 14 回葬儀司会技術講習会報告

平成 19 年 10 月 4 日(木)～5 日(金)、岐阜県から宮崎県まで西日本地区 J A 葬祭担当者 15 人が司会技術の向上を目指し、福岡市内の全農ふくれんビルに集まりました。

講習は初級講習のおさらいから始まりましたが、「字が読めていない！」とのっけから井出講師の鋭い指摘が出ました。受講生にはベテランの人もいたのですが、一人一人が反省させられるところから始まりました。



「音を上げない！どういう意味あるの？」「途中で文を切ってはダメ！」「スピードに変化を」「メリハリ付けて！」容赦のない指摘と指導。その間に教えられる葬儀関連知識を受講生は必死にメモ取り。しかし、アナウンス、甲電、ナレーションと続けていくうちに、2日間約10時間の講習の効果は上々だったようです。



### (受講生の声)

今日までの葬儀の進め方・司会等、注意された悪いところを今まで良かれと思ってやってきたことを明日からは変えるように指導されたことは、何よりも自分にとって大きい。

業者としては当然知っておくべきことを知らな過ぎました。猛省しています。

視野が広がりました。また、自分に足りないものを改めて自覚できました。来年、葬祭ディクター1級試験を受験予定です。

日々の努力が足りないことを改めて感じたことと、レベルを上げるためには一からやり直しをしなければならないと思いました。今回参加して、司会者としての未熟さを思い知らされたのと同時に、「努力あるのみ」だと思いました。とにかく基本中の基本、発声練習からがんばります。